

謹啓 陽春の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴台には、平素から地域における交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり並々ならぬ御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、四月六日から十日間にわたり実施されました春の全国交通安全運動では、新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令される厳しい情勢の中、関係機関・団体、地域・職域の皆様方の御協力をいただき、子供を始めとする歩行者の安全確保と高齢運転者等の安全運転の励行などを重点とした、各種対策に取り組んでまいりました。

運動期間中、都内では、残念ながら五名の方々が交通事故の犠牲となられ、昨年同期と比べ死者数は下回ることはできませんでしたが、発生件数及び負傷者数ともに減少するなど、一定の成果を得て運動を終えることができました。

本年は、昨年の交通事故死者数を上回るペースで推移しており、横断歩道を横断中の小学生が犠牲となる痛ましい交通死亡事故も発生するなど、歩行者が犠牲となる交通死亡事故が増加傾向にあります。

歩行者の交通事故の多くは、横断歩道上で発生していることから、横断歩道は歩行者優先であることを広く強力に呼び掛け、歩行者の交通事故を一件でも減少させる必要があります。

警視庁では「世界一の交通安全都市TOKYOを目指して」をスローガンに掲げ、今回の運動を弾みに、都民が安全・安心を実感できる快適な交通社会の実現を目指し、引き続き、諸対策を推進してまいります。

貴台におかれましては、交通安全対策に対する一層の力強いお力添えを賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。

謹言

令和二年四月

警視庁交通部長

坂口拓也